



令和7年3月

米沢市文化財年報 No.37

米沢市教育委員会



▲堂森善光寺阿弥陀堂の調査風景

昨年度に引き続き、米沢工業高等学校との協働で文化財の調査を実施しました。今年度は堂森善光寺阿弥陀堂の実測調査と、ドローンによる文化財の撮影を実施しています。

万世地区にある堂森善光寺は、平安時代創建と伝わる、市内でも古い由緒を持つ寺院です。何度か火災に見舞われており古記録類は残っていませんが、山形市の立石寺に延文2年（1357）に善光寺で写経した大般若経が残っており、当時の活動を今に伝えています。今回調査した善光寺阿弥陀堂は、寛延3年（1750）に建てられたと伝わる、その名の通り阿弥陀如来を本尊とする仏堂です。浄土思想によって全国各地に建てられましたが、市内ではこの善光寺阿弥陀堂が最古ではないかと言われています。建物を調査し、図面を作成することは文化財建造物調査の第一歩です。

今回作成いただいた図面をもとに、文化財指定へ向けた調査を進めていきます。

一般文化財事業

一般文化財事業では、今年度も国庫補助事業をはじめとして多岐にわたる事業に取り組みました。以下、特に重点を置いた事業について紹介します。

【国指定史跡^{うえすぎはるのりけい し こうげいあと}上杉治憲敬師郊迎跡^{ふ もんいん}（普門院本堂）保存修理事業】

上杉治憲敬師郊迎跡は米沢藩を復興させた名君として知られる上杉治憲^{ようざん}（鷹山）が師の細井平洲^{ほそい へいしゅう}を郊迎した地として、昭和10年に国の史跡となりました。

今年度は普門院本堂工事の6年目で、木工事、左官工事、屋根工事を中心に行っています。外壁・内壁の修繕のほか、壇の組立など内部造作も進んでいます。学生を対象とした保存修理工事の現場説明会なども行い、公開や歴史学習の場の提供を行っています。



▲保存修理工事が進む普門院本堂

【上杉文書調査事業】

上杉文書は昭和29年に上杉家から米沢市に譲渡された約1万点に及ぶ膨大な史料群で、現在は米沢市上杉博物館の特別収蔵庫に収納されています。

今年度の調査は5か年計画の4年目です。最終年度に向けて文書の採録も終盤になってきました。同時に、米沢市上杉博物館・市立米沢図書館収蔵文化財総合データベースで既存の史料と合わせて検索を出来るようにするほか、より詳細な検索項目を設けた上杉文書データベースを公開に向けて作成中です。



▲上杉文書調査風景

【文化財修理の支援】

上杉神社で所蔵している国重要文化財「服飾類」は上杉謙信・景勝が着用したものと伝わっており、昭和36年に国の重要文化財に指定されています。

今年度から第Ⅱ期4か年計画として、上杉謙信が着用したと伝わる^{え ぼ し が た し ろ あ や ず き ん あ か じ ぼ た ん}烏帽子形白綾頭巾、赤地牡丹唐草文天鷲絨洋套等の修理が始まりました。白綾頭巾は木箱に入れられていましたが、状態を心配した米沢藩第13代藩主上杉茂憲が一般への公開を禁止したため、ほとんど公開されていませんでした。修理完了は令和10年を見込んでおり、修理後は上杉神社稽照殿にて公開される予定です。



▲「服飾類」修理監督の様子

また、第Ⅰ期で修理が完了した4点の服飾類については、上杉神社稽照殿で公開され、修理完了を記念したシンポジウムが実施されました。同じく上杉神社所蔵の国重要文化財「色々威腹巻」についても修理が行われており、こちらは令和8年に完了する予定です。

【文化財の調査】

文化財候補の調査では、山形工科短期大学校へ調査を依頼し、成島八幡宮の調査を行っています。成島八幡宮は市内でも有数の古い由緒を持つ神社で、拝殿は室町時代、本殿は江戸時代に建てられたと伝わっています。国登録文化財への登録を目指していますが、登録に向けて年代の特定や文化財としての価値づけを行う必要があります、そのためには建築技法や柱、壁などの風食状況等について他の神社との比較検討が必要です。

また、奉納されていた彫刻類についても調査が行われました。県指定文化財木造門神坐像の他に伝わっている獅子・狛犬や男神坐像などについて、大きさや形状、構造などを確認しました。今後、これらの像の伝来などについても調べる必要があります。



▲成島八幡宮本殿内部の組物くみもの



▲成島八幡宮の神像調査風景

【未来に伝える山形の宝】

芳泉町町内会により行われている「直江石堤なごえせきていと米沢市芳泉町の生垣・町並み景観」の保存・活用活動の中で、文化財継承基盤強化支援事業を活用し、芳泉町の町並みを紹介する看板の設置と町歩き事業を行いました。

看板の写真は米沢工業高等学校の授業のなかでドローン撮影されたもので、芳泉町の町並み全体が見わたせる構図となっています。10月には、うこぎの垣根や芳泉町の歴史を感じる町歩きを実施しました。直江石堤や今も残る茅葺住宅、神社などをまわり、芳泉町がどのようにしてつくられたのか、この町の形となった理由を歴史通して理解を深めていただく場となりました。



▲町歩きの様子

上記の他、表紙や特集で取り上げた米沢工業高等学校と連携した調査や、継続事業として市指定史跡直江石堤の草刈・雑木除去や国・県指定文化財への管理補助事業、民俗文化財への支援などを実施しています。今後とも文化財保護への御理解と御協力を、よろしくお願ひします。

埋蔵文化財事業

令和6年度の埋蔵文化財事業は、館山城跡の確認調査、個人住宅建築工事に伴う米沢城東二の丸跡（米沢城第19次調査）の発掘調査を中心に実施しました。また、館山城跡や戸塚山古墳群等の史跡案内、博物館への遺物の貸出や埋蔵文化財資料室の見学、考古学関係者による資料調査への対応など、活用事業にも努めました。以下、主な事業について紹介します。

【市内遺跡発掘調査事業】

埋蔵文化財に関する発掘届及び分布調査の依頼件数は、令和7年2月28日現在で56件で、試掘・確認調査は18件、現地踏査等は38件でした。また、このうち1件で緊急発掘調査を実施しました。



▲成島遺跡調査状況



▲下花沢 a 遺跡調査状況



▲前野遺跡調査状況



▲金谷 b 遺跡工事立会風景



▲米沢城東二の丸跡工事立会風景



▲馳上遺跡調査風景

【米沢城東二の丸跡の発掘調査】

個人住宅建設工事に伴い、米沢城東二の丸跡の緊急発掘調査を実施しました。調査場所は、米沢市道を挟んで「伝国の杜」の南隣で、米沢市教育委員会が実施した米沢城跡の発掘調査としては、今回の調査で第19回目となります。

調査では、土坑・柱穴・湿地跡・倒木痕といった遺構が検出されました。明確に建物跡を確認することはできませんでしたが、底面に礎石や根固石を配置した柱穴が見られたことから、それらは何らかの構造物を構成した柱穴と思われます。また、湿地跡の底部からは、奈良・平安時代の須恵器が出土しました。そのため、湿地跡は、米沢城が築城・整備されるより以前に存在していた可能性があります。主な遺物として、奈良・平安時代の須恵器・土師器、中世の内耳土鍋片や近世の陶磁器片、かわらけ片が出土しました。



▲調査区全景（上が南）



▲湿地跡検出状況



▲礎石を配置した柱穴

【国指定史跡館山城跡の確認調査】

今年度は、山城の西側に位置する曲輪くるわⅢ南側に位置する高台を調査しました。ここは山城の物見台と推定される場所です。調査の結果、高台頂部の平場は、自然の尾根を利用しその上に上層の「盛土1」と下層の「盛土2」の2時期に分けられる1.1～1.9mの厚さの盛土によって、造成されていることがわかりました。「盛土1」の上面では遺構は確認されませんでした。深掘したトレンチ内の「盛土2」上面に溝状の遺構が1条検出されました。今後、遺構の堆積土に含まれていた炭化物の年代測定を実施し、高台の造成時期の検討を進めていきます。

この他、高台頂部の端では「盛土2」の下部に約10～40cmに砕いた泥岩の石積みが発出されたほか、高台頂部に設置されている石祠せきしの周辺から賽銭さいせんと考えられる寛永通宝かんえいつうほう（近世）等の古銭が「盛土1」の上面から出土しています。



▲高台頂部全景（東から）



▲溝状遺構断面確認状況（北から）



▲盛土2下部の石積み（北から）



▲古銭出土状況（南東から）



▲保存整備検討委員会風景



▲発掘調査現場見学会風景

【埋蔵文化財の活用】

今年度は、山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館で開催した企画展「遺跡の中のカミ・ホトケ」展に、大南遺跡出土の「僧形神立像そうぎょうしんりゅうぞう」や覚範寺跡出土の「一字一石経いちじいつせきぎょう」などの遺物を貸出し、多くの方に本市の文化財を見ていただくことができました。また、考古学の専門家による資料調査に協力しました。今年度は、花沢A遺跡や米沢城跡出土遺物の調査依頼がありました。今後も遺物の貸出依頼や調査依頼があれば積極的に協力していきます。

埋蔵文化財資料室は、米沢女子短期大学の授業や、一般の方々の見学で利用していただきました。また、地元のケーブルテレビ局で戸塚山古墳群の特集番組を組んでいただき、担当者が古墳群や古墳群出土遺物の解説を行いました。さらに、中学生の職場体験（米沢チャレンジウィーク）として米沢市立第二中学校・第四中学校の生徒を受け入れ、館山城跡での発掘調査、遺物の接合、写真撮影といった考古学に関する仕事を体験してもらいました。



▲米短生の埋蔵文化財資料室見学



▲中学生の職場体験（発掘調査）



▲中学生の職場体験（遺物接合）

《第13回 文化財事業特集：ドローンを用いた文化財の撮影と活用》

特集では、令和3年度より米沢工業高等学校と取り組んでいる、ドローンによる文化財の撮影と活用について紹介します。

【ドローンについて】

ドローンとは、「遠隔操作または自動操縦ができる、人の乗ることができない100g以上の小型の飛行機」と定義されており、土木や防災面等で広く活用されています。ただし、安全のために機体の登録が必要であり、また飛行禁止区域が定められているため、禁止区域でドローンを飛ばすには許可が必要です。

【協働による写真撮影と活用】

撮影は、3年生の課題研究の授業として実施し、9月から12月にかけて行っています。樹木の葉が落ちた時期に実施することで、建造物や遺跡の姿を捉えやすいメリットがあります。半面、天然記念物の樹木は葉の生い茂る写真を撮影するため、9月の早い時期に実施するなど工夫しています。

ドローンで撮影した写真は、普段肉眼で見ることができない屋根の上などを撮影できるため文化財の状態把握に使えるほか、全景写真を撮りやすいことから、文化財の指定・登録書類としても使用しています。

【撮影写真の紹介】

一部ではありますが、撮影した写真を紹介します。



▲市指定史跡とつかやまこふん山頂支群（北西から）
手前が全長54mの前方後円墳139号墳



▲市指定史跡ほうりょうづか古墳時代前期（4世紀）の前方後方墳



▲国指定史跡たてやまじょうあと山城跡（北東から）
2つの川に挟まれた舌状丘陵に築城された山城



▲県指定建造物ささの かのんどう菅野観音堂（北東から）
市内最大級の茅葺屋根の建物



▲うえうぎはるのりけいしこうげいあと国指定史跡上杉治憲敬師郊迎跡（南東から）
中央が現在保存修理工事中の普門院本堂で、建物全体を覆屋で覆って工事を進めている
右が平成30年度に保存修理工事を終えた庫裏



▲おおあらかやま ぶどうそん大荒山不動尊（東から）
田沢地区の鎮守で、江戸時代後期に建てられる



▲ほうせんまち芳泉町の町並み（北から）
江戸時代の武家屋敷の面影を今に伝える



▲しおじだら塩地平から米沢市街方向を望む（南から）
塩地平には最古の草木塔そうもくとうが建立される



▲しらぶ白布温泉西屋旅館（北から）
主屋は約200年前に建てられ、茅葺屋根も残る



▲くりこずいどう栗子隧道（西から）
明治（右）と昭和（左）の2つの坑口が並ぶ

【今後の予定】

これまで指定・登録文化財を中心に撮影していましたが、今後は広く未指定文化財の撮影を行うことで、文化財の調査・把握を進めるだけでなく、高校生に文化財を知ってもらうきっかけになればと考えています。また、昨年度より写真だけではなく、一部で動画の撮影も実施しており、所在地がわかりにくい文化財の案内等への活用を検討しています。

米沢工業高等学校は米沢かくじょう鶴城高等学校へと変わりますが、今後も共同での活動を行っていく予定です。

令和6年度 米沢市文化財関係事業

区 分	令和6年度の重点事項	令和6年度の主な事業内容
1. 文化財共通	<ul style="list-style-type: none"> ○事業の記録 ○文化財に関する諮問機関の開催 ○文化財行政推進大会への参加 ○文化財の普及・教育 ○文化財保存活用地域計画 ○登録博物館 	<ul style="list-style-type: none"> ・「米沢市文化財年報」No.37の発行 ・米沢市文化財保護審議会の開催 (第1回R6.7.31 第2回R7.3月25日開催) ・全国史跡整備市町村協議会東北地区協議会(秋田県横手市R6.7.24・25)への参加、山形県史跡整備市町村協議会への参加(新庄市R6.6.27) ・埋蔵文化財資料室、史跡等の見学対応、出前講座の実施 ・中学生の職場体験(米沢チャレンジウィーク)受け入れ ・文化財保存活用地域計画策定に向けた調査(未指定文化財の調査・現状把握) ・登録博物館の審査事務(宮坂考古館)
2. 一般文化財	<ul style="list-style-type: none"> ○文化財の調査 ○文化財の保存・活用 ○指定文化財保存管理の充実 ○指定文化財環境整備の促進 ○無形民俗文化財後継者の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・指定等文化財候補の調査(成島八幡宮・銅造阿弥陀三尊像・南原のオオクリほか) ・米沢工業高校との建造物実測調査・史跡等ドローン撮影(堂森善光寺・西屋旅館ほか) ・上杉文書調査事業(5か年事業の4年目) ・国指定史跡「上杉治憲敬師郊迎跡」(普門院本堂)保存修理事業(17年目、本堂工事の6年目) ・国指定文化財「服飾類(伝上杉謙信、景勝所用)」保存修理事業(第Ⅱ期4か年事業の1年目)の支援 ・国指定文化財「色々威腹巻(伝上杉謙信所用)」保存修理事業(2か年事業の1年目)の支援 ・国指定文化財「行屋」の管理 ・国指定特別天然記念物「カモシカ」の保護 ・市指定天然記念物「ホタル」及び同「吾妻の白猿」の保護調査 ・文化財防火デー(堂森善光寺を予定も諸事情により中止) ・未来に伝える山形の宝事業への協力(芳泉町・笹野・万世地区) ・県指定天然記念物「山上の大クワ」の管理 ・国指定史跡「上杉治憲敬師郊迎跡(普門院・羽黒神社)」及び同「米沢藩主上杉家墓所」管理に係る補助 ・県指定史跡「林泉寺米沢藩上杉家及び家臣団墓所」、県指定天然記念物「長町裏のエゾエノキ」、県指定建造物「笹野観音堂」の管理に係る補助 ・国指定史跡「一ノ坂遺跡」、市指定史跡「戸塚山古墳群」、同「谷地河原堤防(直江石堤)」等の環境整備(草刈・雑木除去等の実施) ・県指定無形民俗文化財「梓山獅子踊」保存会への補助
3. 埋蔵文化財	<ul style="list-style-type: none"> ○埋蔵文化財の調査 ○埋蔵文化財の情報収集及び周知 ○報告書の作成 ○埋蔵文化財の保存・活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・国指定史跡「館山城跡」の範囲・内容確認調査 ・「米沢城東二の丸跡」の緊急調査(米沢城跡第19次) ・開発事業に伴う事前協議及び埋蔵文化財包蔵地における確認調査、分布調査 ・航空レーザー測量図を活用した城館調査 ・米沢市埋蔵文化財調査報告書第128集の刊行(市内遺跡) ・埋蔵文化財資料室・埋蔵文化財南原資料室の維持管理 ・鷲城跡の保存と活用(米沢市協働提案制度補助金活用事業の支援)

発行 米沢市教育委員会 教育管理課 社会教育文化課文化財担当

〒992-0012 米沢市金池三丁目1番14号

T E L : 0238-22-5111 (内線 7530、7531)

F A X : 0238-21-6020

E-mail : bunkazai-t@city.yonezawa.yamagata.jp